

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 8年 6月 29日

岩手県知事 達増拓也 殿

提出者

住 所 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根森山1番地

氏 名 トヨタ自動車東日本株式会社

岩手工場長 藤井 雅則

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0197 - 41 - 1120

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	トヨタ自動車東日本株式会社
事業場の所在地	岩手県胆沢郡金ケ崎町西根森山1番地
計画期間	令和8年 4月1日～令和9年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	31 製造業【輸送用機械器具製造業】
② 事業の規模	2026年度 生産台数：359千台/年
③ 従業員数	3400人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①の通り

(日本産業規格

A列4番)振興局

- 8, 6, 30

県商保第572号

- 74

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙②の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】別紙③のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】別紙③のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項 別紙③のとおり			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】 別紙④のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

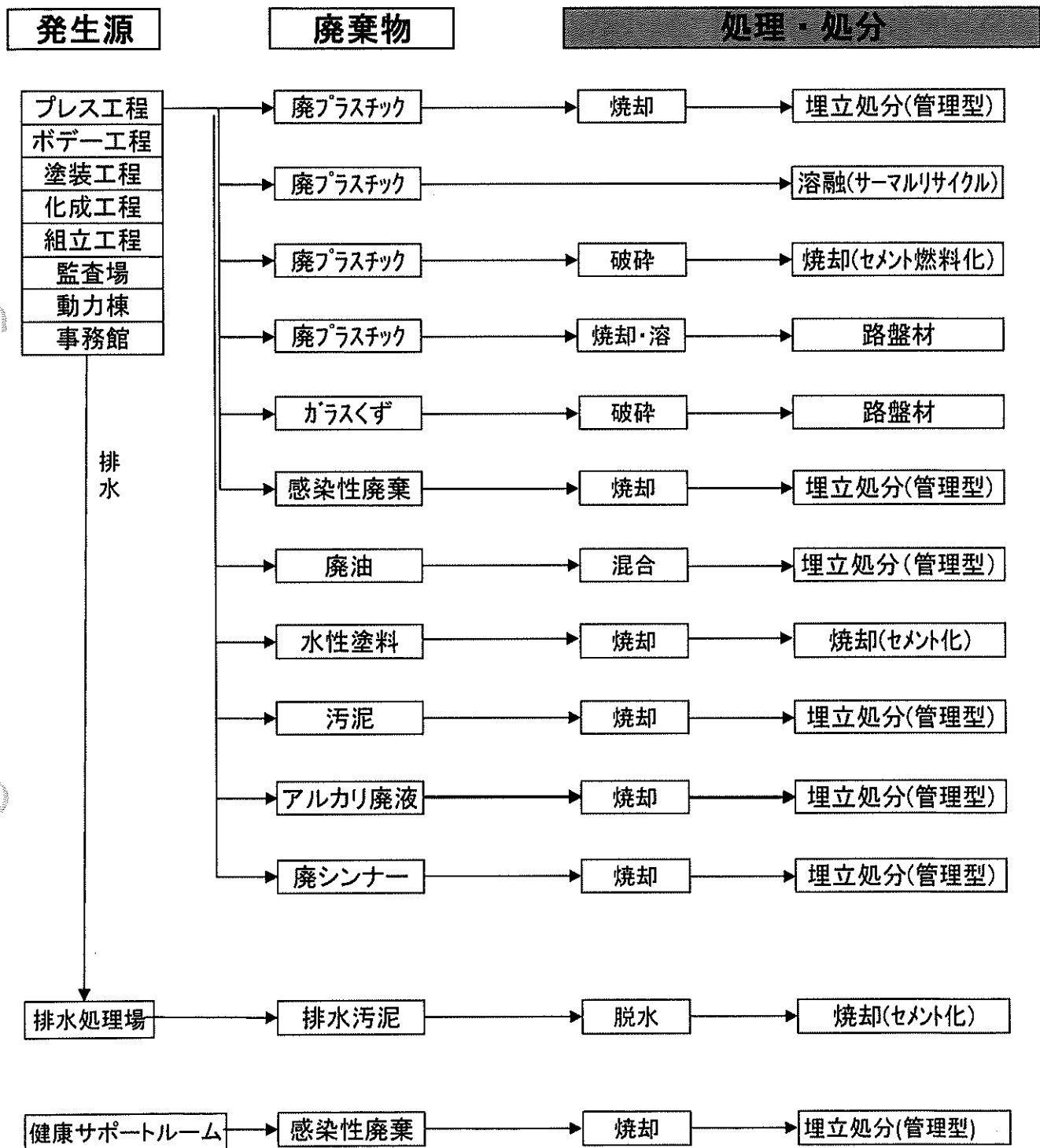
② 計画	【目標】別紙④のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

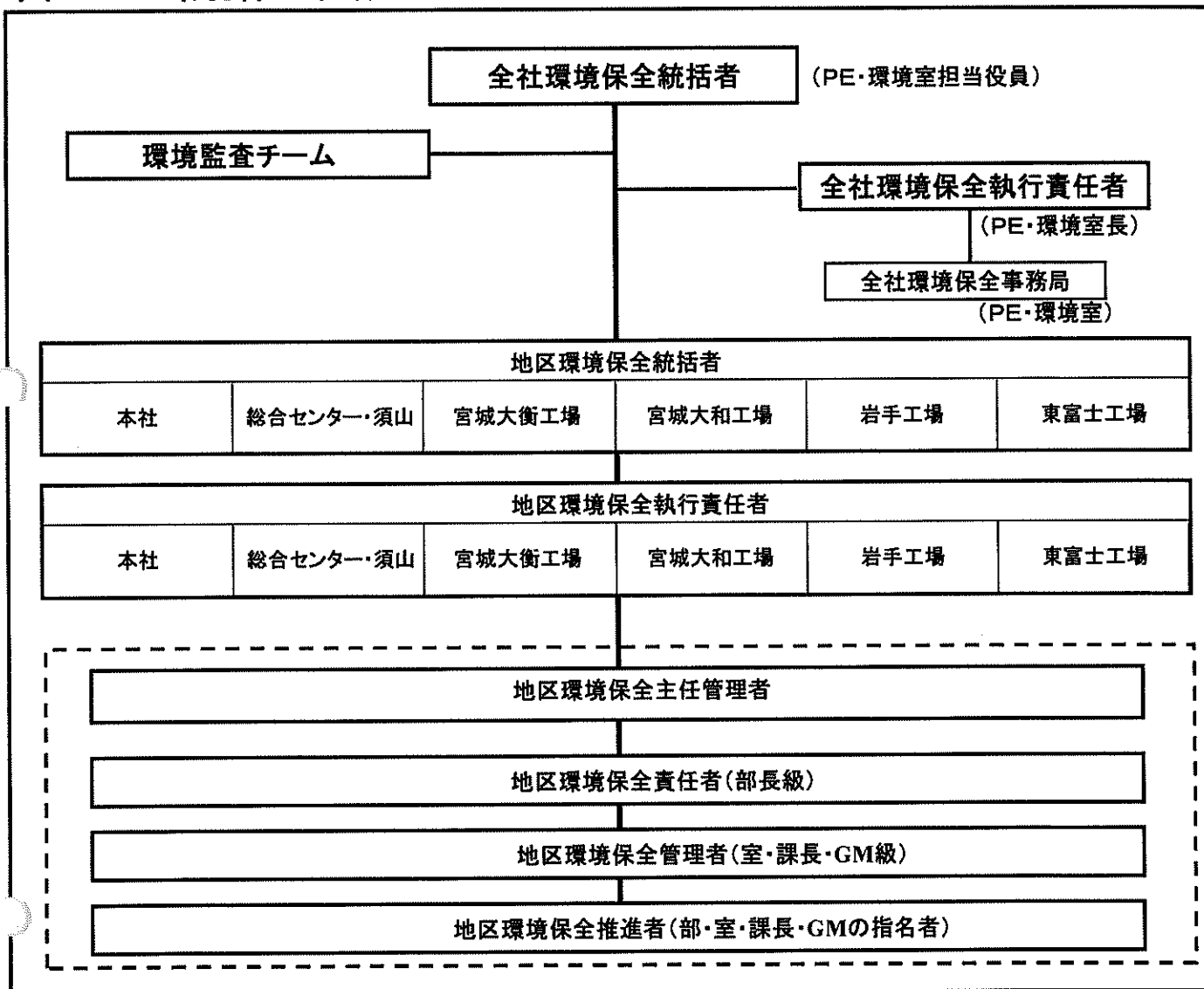
廃棄物処理フロー図

別紙①

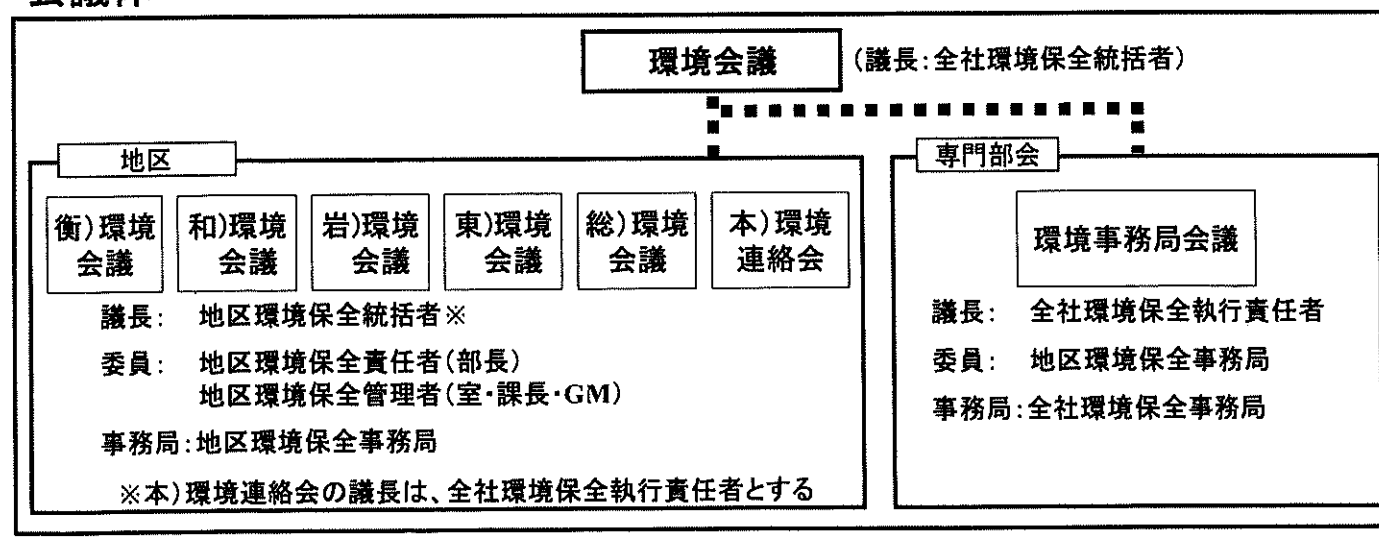


文書番号	E101	環境マネジメントマニュアル	
改正回数	(4)		
改正日	2019.3.1		

図5-3-1 環境保全組織図



会議体



		汚泥類	廃油類	廃プラスチック類	金属くず類	木屑類	ガラス及び不燃物類
前年度の産業廃棄物発生量		1,003.0t	264.0t	562.0t	79.2t	41.0t	12.0 t
①2026年度産業廃棄物発生量計画		1,044.3 t	274.9 t	585.2 t	82.5 t	42.7 t	12.5 t
②廃棄物の分別に関する事項	現状	未着塗料含水率低減	有価物化推進	売却プラの分別徹底	電池・バッテリーの分別徹底	社内リサイクル	加不部品低減
	計画	同上	同上	同上	同上	同上	同上
③自己直接再生利用量	現状	該当無し	↓	↓	↓	↓	↓
	計画	計画無し	↓	↓	↓	↓	↓
④自己中間処理に関する事項	現状	該当無し	↓	↓	↓	↓	↓
	計画	計画無し	↓	↓	↓	↓	↓
⑤自己埋立処分・海洋投入処分に 関する事項	現状	該当無し	↓	↓	↓	↓	↓
	計画	計画無し	↓	↓	↓	↓	↓

現 状	汚泥類	廃油類	廃プラスチック類	金属くず類	木屑類	ガラス及び不燃物類	合計
前年度の全処理委託量	1,003.0t	264.0t	562.0t	79.2t	41.0t	12.0t	1,961.2 t
優良認定処理業者への処理委託量	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	192.0 t	24.3 t	78.4 t	該当なし	該当なし	該当なし	294.7 t
認定熱回収業者への処理委託量	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	0.0 t
認定熱回収業者以外への処理委託量	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	0.0 t
これまでに実施した取り組み	セメント原料として再利用	セメント焼成炉用燃料として利用	売却プラの分別	電池・バッテリーの分別徹底	該当なし	該当なし	

計 画	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	木屑	ガラス及び陶磁器屑	合計
今年度の全処理委託量	1,044.3 t	274.9 t	585.2 t	82.5 t	42.7 t	12.5 t	2,042.1 t
優良認定処理業者への処理委託量	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	199.9 t	25.3 t	81.6 t	該当なし	該当なし	該当なし	306.8 t
認定熱回収業者への処理委託量	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	0.0 t
認定熱回収業者以外への処理委託量	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	0.0 t
今後実施する取り組み	汚泥の含水率低減	有価物として売却を推進中	材質毎の分別を徹底し売却比率向上	電池・バッテリーの分別徹底	植樹会記念品	加不部品低減	0

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類:合計)

数値は、
上段:前年度実績値

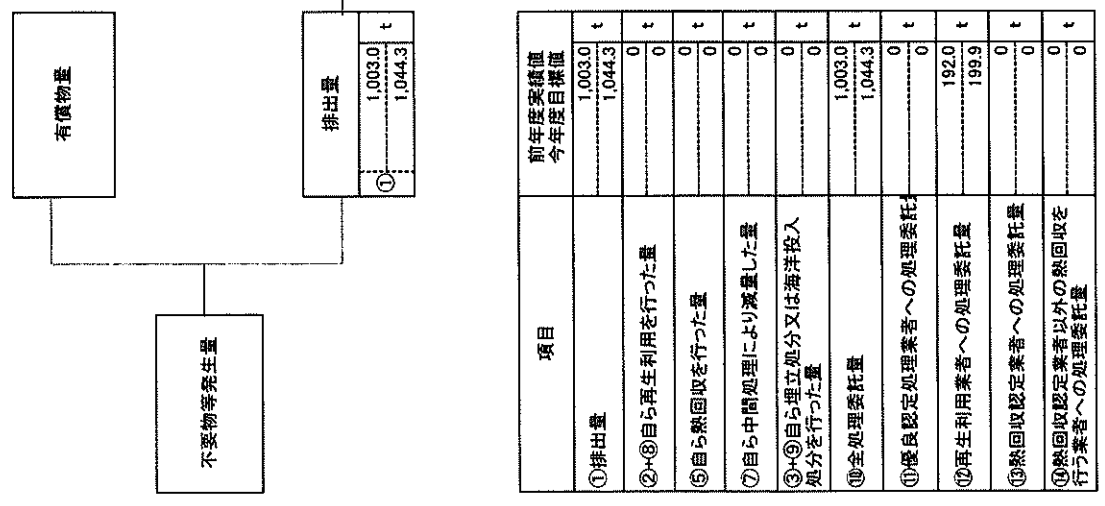
有償物量		排出量	
不燃物等発生量		①	1,961.2 2,042.1 t
		②	0 0 t
		③	0 0 t
		④	0 0 t
		⑤	0 0 t
		⑥	0 0 t
		⑦	0 0 t
		⑧	0 0 t
		⑨	0 0 t
		⑩	1,961.2 2,042.1 t
		⑪	0 0 t
		⑫	294.7 306.8 t
		⑬	0 0 t
		⑭	0 0 t
		⑮	0 0 t

①のうち再生利用 業者への処理委託量	②	294.7 306.8 t
①のうち熱回収認定 業者への処理委託量	③	0 0 t
①のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	④	0 0 t
①のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑤	0 0 t
①のうち中間処理した 後再生利用する量	⑥	0 0 t
①のうち中間処理した 後自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	⑦	0 0 t
①のうち中間処理した 後の廃さ	⑧	0 0 t
①のうち熱回収 を行う量	⑨	0 0 t
①のうち中間処理によ り減量した量	⑩	0 0 t
①のうち中間処理した 後 委託処理量	⑪	1,961.2 2,042.1 t

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類:汚泥類)

数値は、
上段:前年度実績値



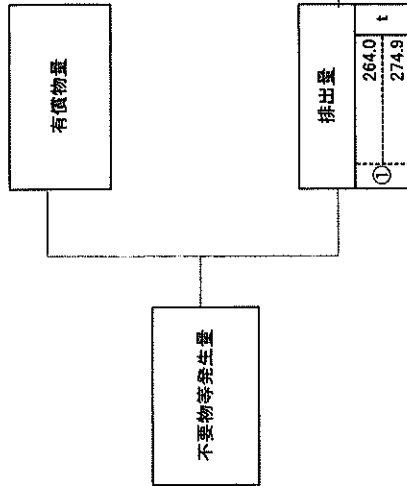
項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	1,003.0 t	1,044.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t	0 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t
⑩全処理委託量	1,003.0 t	1,044.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	192.0 t	199.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

自ら中間処理する量	④	0	0	t
④のうち熱回収を行う量	⑤	0	0	t
自ら中間処理した後の残さ	⑥	0	0	t
自ら中間処理した後再生利用する量	⑧	0	0	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	③	0	0	t
③のうち再生利用業者への処理委託量	⑩	192.0	199.9	t
直接及び自ら中間処理した後の委託処理量	⑪	1,003.0	1,044.3	t
⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫	0	0	t
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬	0	0	t
⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	0	0	t

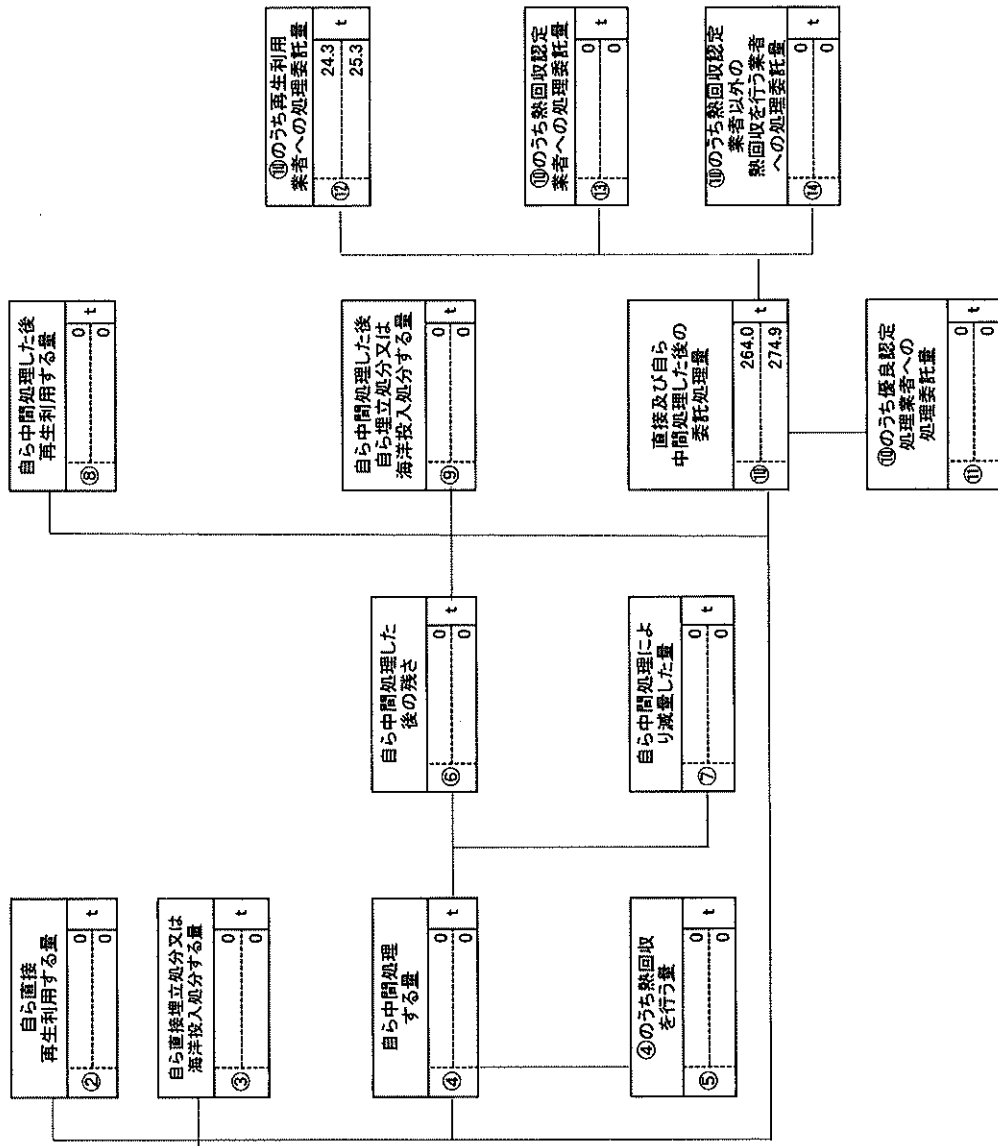
【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃油類)

数値は、
上段: 前年度実績値



項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	264.0	t
②+③+④自ら再生利用を行った量	274.9	t
⑤自ら熱回収を行った量	0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0	t
③+④+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	t
⑩全処理委託量	264.0	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	274.9	t
⑫再生利用業者への処理委託量	24.3	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	25.3	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

数値は、
上段：前年度実績値

有償物量

不要物等発生量

②	自ら直接 再生利用する量	0	t
		0	0

③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	0	t
		0	0

①	排出量	562.0	t
		585.2	

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	562.0 585.2
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0
⑤自ら熱回収を行った量	0 0
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 0
⑩全処理委託量	562.0 585.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 0
⑫再生利用業者への処理委託量	78.4 81.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0 0

④	自ら中間処理 する量	0	t
		0	0

⑥	自ら中間処理した 後の残さ	0	t
		0	0

⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	0	t
		0	0

⑤	④のうち熱回収 を行う量	0	t
		0	0

⑦	自ら中間処理によ り減量した量	0	t
		0	0

⑩	直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	562.0	t
		585.2	

⑪	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	0	t
		0	0

⑧	自ら中間処理した後 再生利用する量	0	t
		0	0

⑫	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	78.4	t
		81.6	

⑬	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0	t
		0	0

⑭	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	0	t
		0	0

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類:金属屑)

数値は、
上段:前年度実績値

有償物量

不
要
物
等
発
生
量

②	自ら直接 再生利用する量	0	t
---	-----------------	---	---

③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	0	t
---	-------------------------	---	---

①	排出量	79.2	t
		82.5	

⑥	自ら中間処理した 後の残さ	0	t
---	------------------	---	---

⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	0	t
---	------------------------------------	---	---

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	79.2 82.5
②+⑥自ら再生利用を行った量	0 0
③自ら熱回収を行った量	0 0
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 0
⑩全処理委託量	79.2 82.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 0
⑫再生利用業者への処理委託量	0 0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0 0

④	自ら中間処理 する量	0	t
---	---------------	---	---

⑦	自ら中間処理によ り減量した量	0	t
---	--------------------	---	---

⑩	直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	79.2	t
		82.5	

⑤	④のうち熱回収 を行う量	0	t
---	-----------------	---	---

⑪	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	0	t
---	-----------------------------	---	---

⑬	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	0	t
---	---	---	---

⑭	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0	t
---	------------------------	---	---

⑫	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	0	t
---	-----------------------	---	---

⑧	自ら中間処理した後 再生利用する量	0	t
---	----------------------	---	---

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類:木くず)

数値は、
上段:前年度実績値

有償物量

不要物等発生量

②	自ら直接再生利用する量	0	t
		0	0

③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量	0	t
		0	0

①	排出量	41.0	t
		42.7	0

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	41.0	42.7
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0
③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0
⑩全処理委託量	41.0	42.7
⑪優良認定処理業者への処理委託	0	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0

④	自ら中間処理する量	0	t
		0	0

⑥	自ら中間処理した後の残さ	0	t
		0	0

⑨	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	0	t
		0	0

⑤	④のうち熱回収を行う量	0	t
		0	0

⑦	自ら中間処理により減量した量	0	t
		0	0

⑩	直接及び自ら中間処理した後の委託処理量	41.0	t
		42.7	0

⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0	t
		0	0

⑧	自ら中間処理した後再生利用する量	0	t
		0	0

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0	t
		0	0

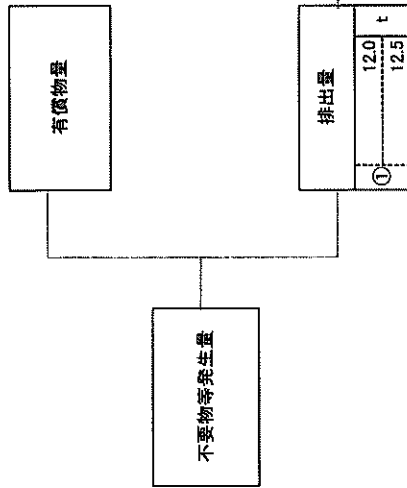
⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	t
		0	0

⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
		0	0

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: ガラス及び不燃物類)

数値は、
上段: 前年度実績値



②	0	t
	0	

自ら直接再生利用する量

③	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

⑧	0	t
	0	

自ら中間処理した後再生利用する量

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	12.0	12.5
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0
⑩全処理委託量	12.0	12.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0

⑥	0	t
	0	

自ら中間処理した後の残さ

④	0	t
	0	

自ら中間処理する量

⑦	0	t
	0	

自ら中間処理により減量した量

⑤	0	t
	0	

④のうち熱回収を行う量

⑩	12.0	t
	12.5	

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑪	0	t
	0	

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫	0	t
	0	

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量